

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	各務原市立那加第二小学校		
実 施 期 間	平成25年10月19日(土)～10月26日(土)		
実 施 概 要	<p>① P T A資源回収 保護者・教員・児童が参加して地域の各種紙類・古着等の回収を実施</p> <p>② 学校開放デー 午前中は1時間目にフリー参観、2・3時間目に東日本大震災の映画鑑賞、午後はP T A主催で校区内・市内の地域の人を講師として体験講座を開設し、児童・保護者・地域住民が参加。</p>		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然      □歴史      ■文化      □産業      □その他		
	公開の方法 ■授業公開   □成果発表   □交流活動   ■講演会等 ■地域行事等参加   ■その他(体験活動)		
来 校 者 数	保 護 者	約400人	計 約500人
	地域関係者	約100人	
実 施 状 況	<p>① 天候はあまりよくなかったものの、参加者は積極的に資源回収に参加。保護者に加え、児童のボランティアも地域で働く姿が見られた。回収数量は前回をやや上回った。</p> <p>② 午前中のフリー参観は、運動場を駐車場に開放したため、普段授業参観にこられない父親や祖父母、地域の方の参観が多かった。また、震災の映画にも多数参加していただき、鑑賞後の意見交流など、これからの私たちについて考えを深めることができた。</p> <p>午後の学校開放デー体験講座は、講座開設のため運動場が駐車場にできないこともあり徒歩と自転車利用による参加者がめだった。保護者の受講者や参観者も低学年を中心に多かった。</p> <p>開設の講座は25講座。講座の講師のほとんどが地域住民であり、年度当初から保護者の担当を決め、連絡をとりあいながら、当日を迎えることができた。児童や保護者も、大変楽しむことができた。また、来賓の方にも多く来ていただき、児童や活動の様子を見ていただくことができた。</p>		
成果及び課題	<p>○ 普段の授業とはまた別の児童の様子をみることができた。担当の保護者からも、開催した充実感の声がたくさん聞かれた。</p> <p>○ 現状では指導要領の改訂を背景にした授業時数の確保の問題や体験講座の内容及び講師選びのマンネリ化問題など、行事の実施の有無や内容の工夫・改善の必要がある。</p> <p>○ P T A主催の最大行事としてP T A担当役員(学校開放デー委員30名)が中心に進めてきた。4月から10月までの担当者の負担は重いがやりがいもあるところである。</p> <p>○ 講座の開設場所をその内容から、隣接の各務原養護学校や産業文化センター等などをお願いしている。移動やその確保に課題はある。</p>		